

徳 島 県

徳 島 県 退 職 校 長 会

設立 昭和 40 年 5 月 25 日

【激動のこの10年】

昭和40年5月25日に設立された本会は、本年度で60年を迎えます。その式典は、令和7年5月の定期総会を兼ねて開催しました。その折に10年ごとの節目として「創立60周年誌」の冊子を発行しています。この冊子は過去10年の歩みをまとめたものです。

本県にとっては、この10年は激動の年になりました。令和2年度～4年度はコロナ感染の影響で、日常生活の変化、社会の動き、学校現場の教育・授業への影響等と共に、退職校長会の事業・活動も全くできない3か年でした。

5年度からコロナの影響も少なくなり以前のように活動開始となりました。ところが大変なことが起こりました。それは、徳島市と鳴門市の2つの組織体が、令和4年度で退職校長会を退会することになったということです。その主な要因は、「役員や事務局に関わってくれる人がいない」からでした。徳島市においては、理事会や総会においても存続を願う多くの意見が述べられましたが、会員アンケートの結果「解散もやむを得ない」と答えた会員の数の多さで決定されました。しかしながら、存続を切に願う会員の熱い思いを受け、新しい組織を立ち上げ、現在は約100名の会員で活動しています。その上に、令和6年度には名西郡が「総会・その他の事業に会員が参加してくれない。無視されている」ということで退会となりました。

このような出来事は、今までに経験したことのないことです。3つの大きな郡市が退会になることは、会員が激減するに伴い会費減少になります。

【令和になってからの会員数の推移】

平成27年度の会員は、1676人でこの10年で約550人の減少です。

年 度	平成30年	令和元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
会員数	1673	1658	1623	1588	1269	1240	1127
前年の増減	- 2	- 15	- 25	- 45	- 319	- 29	- 113

【会費減に伴う行事・事業の見直し】

- ・ 会報の発行は年2回を年1回にする
- ・ 各部の開催は年2回を年1回にする
- ・ 会員名簿は縮小してページ数の減少
- ・ 会議の接待としてのお茶は省略する
- ・ 理事会の開催は年4回を年3回にする
- ・ 交通費の縮小を図る
- ・ 総会資料（要項）は業者に依頼しない
- ・ 現地研修の県からの補助金は縮小する

【今後の課題】

令和6年度の見直しと反省をもとに、行事・事業の再検討をし、今後の在り方を探る。